

適応症

取り扱い説明書では
歯周ポケットの深さが4mm以上
骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損
つまり保険適応はここまで

骨欠損では

- 3壁性骨欠損
- 2壁性骨欠損
- 1壁性骨欠損

コンベネーション治療が勧められている

リグロス単体で使用すると
予後、歯肉部の陥没が起きやすい
だから、骨補填剤を同時に使用する

具体的にいうと

分岐部病変では

- 1度分岐部病変
- 2度分岐部病変

歯根露出では

- クラス1
- クラス2

→というかエムドゲインの代替治療のようなものだから、適応症はエムドゲインと一緒に

組成

有効成分 ○ FGF-2

基材 ○ ヒドロキシプロピルセルロース ○ リグロスに粘性を与える